



2011年1月14日

宇部興産株式会社
日立マクセル株式会社

リチウムイオン電池用塗布型セパレーター合弁会社設立

宇部興産株式会社（社長：竹下道夫、以下「宇部興産」）と日立マクセル株式会社（社長：角田義人、以下「マクセル」）は、リチウムイオン電池用塗布型セパレーターの製造及び販売等を行う合弁会社を設立することで合意いたしました。

リチウムイオン電池は、携帯電話やノートパソコン、デジタルカメラなど民生用携帯機器の用途を中心に市場を拡大しており、今後、ハイブリッド自動車や電気自動車などの車載用途や産業用途などへの応用も期待され、大幅な需要の増加が予想されています。

セパレーターはリチウムイオン電池の主要部材の一つで、宇部興産はポリエチレンとポリプロピレンの積層膜に均一な微細孔構造を形成する乾式プロセス技術により、良好なシャットダウン特性と高温耐熱性を実現したセパレーターを量産し市場に提供しています。

この積層膜に、マクセルが磁気テープなどで培ってきた分散塗布技術を利用して無機微粒子によるコーティング膜を形成することにより、高温耐熱性をさらに高め、異常発熱時の熱収縮を小さく抑え電池内部での短絡を防ぐことが可能となり、リチウムイオン電池の安全性が大幅に向上します。また塗布膜の設計により耐熱性に限らず多様な機能や特長をセパレーターに付加することができます。

宇部興産及びマクセルは、両社の技術の融合により高い安全性をはじめとする多様な特長を有する次世代リチウムイオン電池向けセパレーターを実現するべく技術提携を進めてきたところ、良好な性能と安全性が確認されたことから、商品化に向けて合弁事業化を決定したものです。新会社はセパレーター製品の開発と、両社の販路を含む経営資源も活用した量産供給を通じて、ハイブリッド自動車や電気自動車用リチウムイオン電池、産業用リチウムイオン電池の市場拡大に貢献することをめざします。

●宇部興産 常務執行役員 機能品・ファインカンパニープレジデント 渡邊史信 のコメント

リチウムイオン電池材料は当社の成長戦略事業の中でも特に注力している重点分野です。本都合弁の主眼は異業種の日立マクセル殿と各々得意とする技術を持ち寄り顧客がセパレーターに求める機能を的確に実現すること。市場は需要の伸長に伴い性能・コストの両面で競争が激化していますが、当社は単独開発にこだわらず積極的なアライアンス戦略により、今から加速的に立ち上る需要をにらみ技術開発と供給体制の構築を加速します。

●マクセル 代表取締役 専務取締役 千歳喜弘 のコメント

マクセルは、基盤事業である磁気テープの製造を通じて独自の微粒子分散技術及び塗布技術を確立してまいりました。このたび設立する新会社において、宇部興産殿の特長あるセパレーターと当社の技術を組み合わせることで、セパレーターの基本性能を損なうことなく耐熱性を向上させ、急激に市場が拡大するリチウムイオン電池の安全性向上に貢献したいと考えております。さらに将来に向け、電池の長寿命化やなお一層の安全性向上に寄与する開発を継続していきます。

【新会社の概要】

商 号：宇部マクセル株式会社

所 在 地：京都府乙訓郡大山崎町小泉 1 番地

代 表 者：代表取締役社長 永田 啓一（現 宇部興産株式会社機能品・ファインカンパニー機能材
第二ビジネスユニット長）

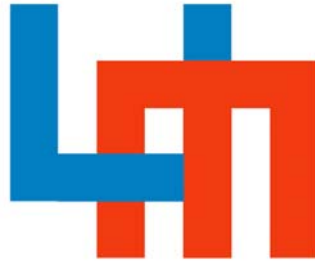
設 立：2011 年 2 月 1 日（予定）

資 本 金：1 億 5,000 万円

出資比率：宇部興産株式会社 51%

日立マクセル株式会社 49%

事業内容：リチウムイオン電池用塗布型セパレーターの製造及び販売



宇部マクセル株式会社 ロゴマーク

以 上